

①九州防災エキスパート会活動支援事業(令和5年度活動状況)

九州防災エキスパート会は、国土交通省九州地方整備局OBで組織する九州地方整備局業務のアドバイス又はオブザーバーの立場で行動するボランティア団体です。

これまで培ってきた防災の知識や技術を活かし、災害時には現場に出動して復旧工法の助言などを

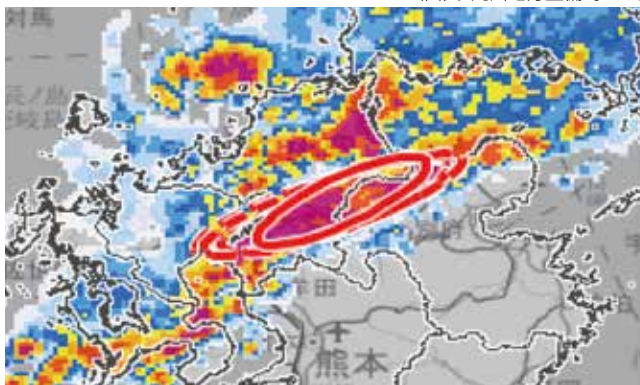
行うとともに、平常時には各事務所が実施している出水期前の点検、訓練などの防災活動に同行し助言などを行う他、防災担当者や水防団などを対象とした水防工法の指導なども実施しています。

本部及び九州内16支部からなり、令和5年12月末現在の会員数は452名となっています。

1、災害時の主な支援活動

(1)各支部における支援

(出典:九州地方整備局HP)



[雨量レーダー]7月10日9時頃

令和5年7月9～10日の梅雨前線の影響により、九州北部に線状降水帯が発生し、英彦山と耳納山の24時間雨量は400mmを越える大雨となり、筑後川、遠賀川、山国川、松浦川の4水系で氾濫による浸水被害が発生しました。

筑後川の53km付近や支川の巨瀬川・佐田川で護岸崩壊等が発生し、山国川の10km400付近においても河岸崩壊が発生したため、当エキスパート会は、各事務所の要請を受けて現地等に出動し、被害確認や災害対応の助言等を行いました。



筑後川河川事務所での助言の様子



筑後川支川巨瀬川 右岸9K050

(2)新たな支援の取り組み

7月10日豪雨により福岡県久留米市等で発生した浸水被害箇所では、九州地方整備局からの要請を受け、整備局災害対策室へ、4日間、延べ6名の当会会員を派遣しました。



7月18日 整備局災害対策室

この取り組みは、令和5年6月に九州地方整備局と当会で確認したTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)活動への支援の一貫であり、整備局本部に当会会員を派遣し、整備局本部と現地TEC-FORCE隊長とのWeb会議において、被災状況把握のポイントや報告書取りまとめ時の留意点等についてアドバイスを行いました。

2、平常時の防災支援活動

(1)総合水防演習への支援

令和5年度は、九州地方整備局主催の総合水防演習が遠賀川で開催され、当会遠賀川支部より9名が参加し、水防工法の土のう積などの技術的助言を行いました。



土のう積へのアドバイス

(2)緊急対策シミュレーションへの支援

河川系事務所が行う洪水や地震対象の堤防決壊時の緊急対策シミュレーションに参加し、迅速な復旧工法、資材調達方法、仮設計画等への助言を行いました。



宮崎河川国道事務所での意見交換

☆R5実施事務所:筑後川河川、武雄河川、長崎河川国道、大分河川国道、佐伯河川国道、山国川河川、宮崎河川国道、延岡河川国道、川内川河川

(3)道路法面等の防災点検への支援

道路系事務所が行う道路法面の防災点検に同行し、要対策箇所や対策工法等について助言を行いました。



佐伯河川国道事務所での防災点検

☆R5実施事務所:北九州国道、佐賀国道、八代河川国道、大分河川国道、佐伯河川国道、大隅河川国道、鹿児島国道